

【令和6年寄附講義ガイダンス報告】

令和6年度の柑芦会による寄附講義「現代経営実践論」-企業・職種研究-が10月10日(木)から11月28日(木)まで、先輩による7回の講義で行われます。講義をご担当いただく講師の皆様には、こころより御礼申し上げます。

10月3日(木)には開講ガイダンスが行われました。長廣先生と本庄先生からの受講に関する注意事項の説明に続き、柑芦会会長 垣見 祐二様(25期)による「柑芦会について」と西山 剛様(62期)による「柑芦会の活用について」の特別講義をいただきました。

登録の受講生は72名です。教室いっぱいの学生に意欲と熱心さを感じました。受講生の期待に応える講義になると思います。

垣見会長様には、自己紹介のあと、和歌山大学経済学部同窓会「柑芦会」の歴史から現在の活動状況までを分かりやすく説明いただきました。

特に強調されていたのは、以下の3点です。

- (1)この講義では今後の進路を考えるための職業観を醸成してほしい
- (2)仕事に必要な知識や能力の理解をしてほしい
- (3)今、何かをしたいと決めなくても、いろいろな部門を経験できる会社を選び、将来的には起業を考えるなどの選択肢もある



続いて東海支部の西山様には、学生時代のことから卒業して商社に勤務した経験を生かしての空間デザイン会社の起業や古民家再生事業、各種コンサルビジネスの経験を通して、今の学生に参考となる体験談を分かりやすく講義して頂きました。

特に印象に残ったのは

- (1)大阪勤務から名古屋勤務で得た柑芦会人脈への感謝とパイオニア精神
- (2)仕事はひとりではできない。自分の気持ちの仲間への伝え方の大切さ
- (3)たくさんの人と話して欲しい。特に苦手と思っている人と



学生も興味深く、真剣に聞いていました。質問態度も礼儀正しく、さすがに和歌山大学の学生だと好感がもてました。

講師からは、第一印象の大切さ、自分探しにいろいろと飛び込むことの大切さ、将来の夢を持つ大切さなどが語られました。

垣見会長様、西山様本当にありがとうございました。

24.10.3 寄附講義実行委員長 渡邊記